

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院を受診した患者さんへお知らせ

研究課題 「双極性感情障害患者におけるセルフスティグマの分析」

本研究は、生命倫理委員会(臨床試験部会)の承認ならびに学長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。(承認番号:6027)

1. 研究の対象

当院神経精神科外来を受診した 20 歳以上の患者さんのうち、当院初診時から 3 か月以上経過しており、双極性障害の診断を受けている方。

2. 研究目的・研究期間

我が国では、法整備などを通じて精神障がい者に対する差別を減らす取り組みが行われてきました。しかし実際には、社会における精神障がい者への差別や、病を抱える方自身が自らを偏見の対象になる存在であると評価する気持ち(=セルフスティグマ)に関する課題が残されています。これまでには、双極性障害の患者さんにおけるセルフスティグマについて、まだ十分に研究が行われていません。そこで私たちは、本研究を通じて、社会復帰を妨げる大きな要因となっているセルフスティグマについて解明することで、患者さんがより円滑に社会復帰できるようになるための医療の在り方を見出すことを目的としております。

研究期間:学長承認日～2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類と方法

・自記式アンケートへの回答情報:

対象者の属性

年齢、性別、職業、同居者、初診年齢、診断された年齢、精神科入院歴、婚姻歴、
支援者の有無、家族の協力、家族や職場への疾患公表の有無、利用している経済支援

自記式スティグマ評価尺度

① the Japanese version of the Self-Stigma of Mental Illness Scale 全 40 項目

② The Japanese version of the 10-item Internalized Stigma of Mental Illness Scale 全 10 項目

※氏名、住所、生年月日、患者 ID・カルテ番号等個人を特定するような情報は研究に用いません。

収集した情報は、新たな符号をつけて個人が特定できないようにコード化します。

・アンケートの回答と回収

アンケートは対象となる患者さんが外来受診された際に、研究者が陪席してアンケート内容を読み上げながら説明します。ご自身で回答した後に、アンケート票はその場で回収します。回答までの所要時間は約 15 分です。

4. 個人情報の保護とデータ保管、および研究終了後のデータの取り扱い

調査に関連した情報・データを含む電子媒体等は、機密が保持されるようパスワードを設定して保管します。またすべてのデータは、下記保管責任者が聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室医局の鍵のかかる保管用ロッカーおよび同大学横浜市西部病院神経精神科所有の鍵のかかる保管用キャビネットにおいて管理します。

研究終了・中止後から5年もしくは成果について学会発表等の報告を行った最終の日から3年が経過した日のいずれか遅い期日までを保管期間とし、電子データは完全に消去、紙データは焼却して廃棄します。

本データを用いて将来、新しい研究を行う際には改めて倫理委員会による審査を受けて行いますが、対象者の意思確認は情報公開により行いますので、ご質問やデータの利用を望まない場合には下記問い合わせ先までご連絡ください。

5. 研究結果の公表

この研究による成果は、研究責任者らによって、学会発表もしくは論文にて発表・公表することを予定しています。

6. 謝礼

本研究では謝礼はございません。

7. 研究参加への任意性

本研究への参加を辞退されても不利益を被ることはありません。

8. 本研究に関する問い合わせ

本研究に関して、ご質問等がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

＜2023年10月1日～2024年3月31日の問い合わせ先＞

〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 電話番号:045-366-1111(代表)

メールアドレス:kenkyustig.marianna@gmail.com

研究担当者:清水 梨々花

＜研究全般における問い合わせ先＞

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室 電話番号:044-977-8111(代表)

研究責任者:古茶大樹

対応時間:平日(月曜日～金曜日)10:00～16:00